

ぶちたまご

第7号

平成30年3月

社会福祉法人
米沢仏教興道会
プチハウス

米沢市徳町1-38-1
TEL 0238-26-6565

絵本だいすき Vol.7



瀧湊未裕ちゃんのお母さん
瀧湊さおりさん

「これ読んで」とよく持ってくるのは『パンだいすき』でした。赤ちゃん組から進級するときに頂いた本です。ページをめくるたびに色々なパンが出てきて、一つひとつ食べるふりをしながら読み進めていきました。てくてく組になり、毎月一冊ずつ届く本をノンタンにしました。自分で選んだものです。内容も理解できるように、届く度に喜んで見えています。お気に入りには『ほわほわわわ』で、大きく膨らんだノンタンのお腹をハチがチクリと刺すところや、雲の列車に乗って進んでいるところは毎度笑って見えています。

慌ただしく毎日が過ぎ、ゆっくりと子どもと関わる時間を持つのは難しいですが、絵本と一緒に読むことで不思議とリラックスでき、一緒に笑ったり怖がりしたりすることでコミュニケーションをとっていたのだと感じます。三歳を迎え、これから色々な絵本と出会っていきたく思います。絵本を通して様々なことを感じられる、想像力豊かな子に育ってほしいと願っています。

プチハウスの子どもたちは、絵本が大好きです。大人の膝に座って絵本と一緒に読み聞かせをしてもらったりする時間は、子どもにとっても私たち大人にとっても幸せなひとときです。このコーナーでは、保護者の方にお子さんのお家での様子やお気に入りの絵本を紹介していただいています。今回は、てくてく組の未裕ちゃんのお母さんに書いていただきました。

「〇〇ちゃんのてちさいね〜」
「いっぽんぼしこ〜ちよちよ」「きゃきゃきゃ〜」
み〜んな仲良しです。



「よんであげるね」
小さい子に絵本の読み聞かせ。
一緒に絵本を見て楽しんでいます。



「パズルできるかな〜」
「ねえねえこれどーこ？」
「これはね…ほらここだよ」
「あっ！できた〜」



わくわくおもちゃ 手作り玩具

今年もいろいろな手作り玩具に触れて、考えて集中して楽しむ姿が見られました。一人が楽しそうにあそんでいると「ぼくも!」「わたしも!」と集まってきます。集中する子どもたちの目はとても輝いています。

ボタンかけボード

紐をボタンにかけていきながら様々な形に見立ててあそんでいます。出来上がった形を見て「お家みたい」「今度は何になるかな」などと保育者や友だちとやりとりして楽しんでいます。子どもの発想豊かな見立てに驚かされています。



カラコロリン

カラーボールを上部にある二つの穴のどちらかに入れて、障害物にぶつかりながら、下の三つの穴のどこから出てくるか楽しむあそびです。ボールの動きを目で追い、障害物にあたる音を楽しんでいます。同じ穴に入れても違った落ち方をすることに繰り返し楽しむ子どもたちの姿が見られます。



「無限の力」

プチハウス 園長 塚本 正憲

“子どもは、無限の力を秘めている”私がお世話になった園長先生の言葉です。

プチハウスでは、12月より子どもの年齢の枠を取り払い、異年齢同士の交流をしています。子どもたちの様子を見ますと、誰に教えられた訳でなく、年下の子どものお世話をしようとする年上の子どもの微笑ましい姿がありました。ご両親や関わった大人たちを見て自分なりにお世話しようとし、自ら育っているのだと思います。そこに子どもの無限の力を感じ、あの言葉は真実であると確信しています。

子どもは、大人になる過程で、傷ついたり悩んだりする事がたくさんあると思いますが、私たちは、“子どもの無限の力”を信じ、子どもたちに信頼される存在であるために努力していきます。

編集

後記

早いもので今年度も残すところわずかとなりました。今回の情報誌ではプチハウスで大事にしている離乳食についてや、年間を通しての行事の様子をお届けしました。また、オープン保育の中での異年齢のかかわりが少しでも伝わればと思います。これからも笑顔あふれる子どもたちの成長を温かく見守っていきたくと思います。

笑顔いっぱい!

プチハウスの親子行事

当園では、園で行う一つひとつの行事を大切にしています。季節の行事や仏教に関する行事、そして保護者の方の参加や協力を得ながら行う大きな行事もあります。子どもたちの育ちに合った内容で温かい雰囲気の中で行っています。

それぞれの行事を通して、子どもたちが様々な経験をしたり、友だちや保育者、そして家族と一緒に楽しい時間を過ごせるようにしています。そして行事を経験するごとに、子どもたちは、成長しているように思います。今回は、保護者の方と一緒にいる行事を紹介します。

保育参加



お家の方と一緒にあそんだり、食事をしたり楽しく過ごしました。お家の方同士、コミュニケーションを図る場にもなりました。

夏まつり



おみこしワッショイ！ワッショイ！みんなで盆踊りをしたり出店もあり大盛況。夏の思い出がいっぱい増えました。

親子バス遠足

浜田ひろすけ記念館へバスに乗って行きました。雨降りで少し残念でしたが、お家の方と一緒にのひときは、笑顔がいっぱい溢れていました。



プチフェス

子どもたちの作品を展示したり、いろいろなコーナーで楽しむプチハウス最大のイベント。おじいちゃん・おばあちゃんも一緒にあそんだり、子育て支援センター「くれよん」のお友だちも一緒に楽しみました。



「作ってあそぼうコーナー」



「親子体操コーナー」

たべるとたのしいね

食事の土台となる離乳食を一人ひとりの育ちに合わせて、ていねいに進めています。

0歳から1歳の間にミルクから初期食・中期食・後期食と経験し、乳児食を食べられるようになる大切な時期です。“自分で食べたい”という気持ちを大切にしながら、様々な食材に触れたり味わったりし、楽しくおいしく食べられるようにしています。

初期食



ミルク以外の食べ物を初めて口にするようになります。保育者がスプーンを口元に運ぶと口を開けてパクリ。ペースト状のものを“ごっくん”と飲み込めるようになります。様々な食材の味を楽しみます。

中期食



食材に興味をもち始めるため、取り皿にコロコロ状の野菜などをのせて自分で触れられるようにしています。おかずに触れたり、つぶしたりするうちに徐々に口元へ運ぶようになります。こぼしながらも自分で手づかみして食べることを喜んでいきます。

後期食



取り皿に盛ってあるご飯やおかずを、手づかみで食べるようになります。スティック状のものを噛み切ったり、一口量を確認しながらよく噛んで食べています。保育者が手を添えることで、自分でコップを持って飲むことにも慣れてきます。

